



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2025. **10** 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 418

- 国際会長：Edward Ong [シンガポール] 信念、愛、行動  
Faith, Love, Action
- アジア太平洋地域会長：田 上 正 [熊本むさし] 信念と愛を持って行動しよう！  
Act now with faith and love!
- 西日本区理事：中 井 信 一 [奈良] 世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!  
Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!
- 九州部部長：本 田 節 子 [熊本Nスピリット] 楽しく交流しながら地域のために奉仕しよう  
Let's serve the community while having fun and interacting



「一步一步積み重ねていけば何とかなる!」

鹿児島クラブ会長 松若 鉄比古

## 9 月例会報告

鹿児島クラブ 新内 俊昭

厳しい暑さが続いている中、松若会長の元気のよい挨拶があり、9月定例の例会は始まりました。2026年度「児童クラブ」開設について、10月16日市役所のヒヤリングが実施され、運営開設の可否が決まること、世界食糧デー、チャリティランの取り組み、水害被害者への募金の実施、予算書の一部見直し等について提案があり、話し合いの結果全会一致で了解しました。

今月の卓話は、全国合鴨水稲会代表世話人をされている、鹿児島市郡山町の福永大吾様をお招きして、「コメ問題と合鴨農法について」をお聞きしました。要旨を報告します。

### 1. 合鴨(アイガモ)農法について

私は九州大学を中退して、体調くずして(喘息)医者への勧めもあり、鹿児島へ帰り農業をすることとなった。1991年から「農業を使わずお米を作りたい」という思いで、合鴨農法による農業を始め、先進地の福岡で学び技術を蓄積してきた。

合鴨はアヒルと鴨を掛け合わせて、稲作に活用できるように品種改良してきた鳥だ。アヒルとカモの一種であるため小さくて飛ぶことができない、丸い葉っぱは食べるが細長い水稻の葉っぱは食べない、害虫を食べるし、たんぼの水を濁して光合成を阻害して雑草が生えない。このようにして合鴨農法は除草作業、病害虫駆除、フンによる追肥効果が期待できるようになった。また、田んぼで主食のお米を育てながら副産物として食肉として鴨肉も生産できる、一石二鳥の農法だ。

### 2. 現在のコメ問題について

昨今のコメ問題はどのように起こったのか。これは供給側(農水省)の問題であると思う。生産調整による飯米の栽培制限=減反政策により、これまで生産量を調整して、販売価格を激しく変動させてきた政策として続けてきた。

2024年秋の収穫予測と作況指数の把握の失敗、ドローンによりAIで収穫予測の手法に変更して失敗(外観は粳であるが、内実は小米、未熟米)して、収量は減産であった。

「南海トラフ臨時情報」が発令され、買い溜めが発生した。コメ不足のニュースで消費者の不安感が増大し、価格変動を気遣う農家の保管米の増加、それに伴う流通量の減少で販売価格の上昇が続いた。

農水省は2025年度作付け計画では減反政策(食用米を作らせない)を維持。ところが生産現場の農家は勝手に増産へ舵を切り始めている。飼料用米から食料米へ、休耕田の復活、作付け面積が増大している。コメは作付け増産しても、コメ不足は解消しないだろう。備蓄米は60万トン確保するべく法律によって規制されているが、政府備蓄は10万としか残っていない。備蓄米を購入した業者は政府へ返納する義務を負っている。新米が大収穫であっても、以上のような状況を勘案すると、供給量と価格安定は期待できない。

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

## ニュース解説(コメ業者間では常識的なことが、消費者感覚とは違う。)

1俵価格は30kg玄米×2袋分(60kg当たり)の価格である。例として、25,000円程度の政府米卸価格に流通経費(運送費+精米+包装+販売手数料)を上乗せすると、販売原価は40,000円前後の価格となろう。農家に対しては、販売予定価格の80%程度を概算金支払い、とりあえずの生産経費に充ててもらい、来年3月頃に販売価格が決定された段階で清算して金額の支払いが行われる。



vol.  
10

## 会長 通信

鹿児島クラブ会長 松若 鉄比古

「一歩一歩積み重ねていけば何とかなる!」



秋は「実りの秋」と言い、「人生の秋」とも言う。収穫と老いの正反対のイメージを併せ持っています。過酷な夏の後にくる収穫の喜びも冬が迫れば老いの寂しさにかき消される。夏と冬の間の、その中心に位置する10月はどっちだろうと小生は考えさせられる年齢でもあります。猛暑疲れが残る身から一つギアをあげて健康管理に努めれば冬でも「健康」という収穫が得られるのではないかと思う事もあります。しかし、10月はなんといっても実の月、種の月。実を得、種を得る月だと思えば気が楽になります。この様ないい季節の10月を大いに満喫したいものです。

9月の定例会は、鹿児島市在住で全国合鴨水稻会代表世話人福永大悟様に卓話をして頂きました。題目は「合鴨農法による米作り及びコメに関する話題」でした。実りの秋、収穫の秋、加えて現在社会にご関心の深いコメ問題が話題となっている時期です。卓話の内容は、日常我々がマスコミ等で得ている表面だけの知識を深堀することが出来、貴重な知識の収穫となりました。ここに福永様を招聘して頂いた園屋ワイズに感謝致します。

10月の定例会は、「みんなで楽しく歌う会」で新内良味メネットの演奏で歌います。大いに「楽しさ」を収穫しましょう。

vol.  
10

## 理事 通信

西日本区理事 中井 信一

世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!



少しずつ季節が進んで来ておりますが、どうぞお体くれぐれもご自愛下さい。小生の主題でもお伝えしています、YYYの共働に関しまして皆様と情報共有をさせていただきます。第1回役員会でも決議して頂きました『Y's SDGs Youth Action2026』のお願いです。過去2回の反省も踏まえ、西日本区全員、東日本区、YMCA三者で取り組んで参りましょう。詳細は、追って西日本区書記からも発信して頂き、西日本区HPにも掲載致します。YYYライフをご一緒に楽しみましょう!!

8月にも、様々な集いに参加させて頂き、皆様からも貴重なアドバイス等を頂きました。

1) 6日は京都トップスクラブのEMC例会に参加致しました。クラブのメンバーが友人達とご一緒に納涼例会に参加され、賑やかな為になる集いでした。又、嬉しい事に新メンバーの入会式も執り行われ、久保田事業主任とご一緒にお祝い致しました。

2) 9日は京都ZEROクラブ15周年記念例会にお招きを頂き、お祝いも皆様にお伝え致しました。約240名のワイズ、コメットが集い、賑やかな祝会になりました。10周年のお祝いはコロナ禍で中止になり、今回は熱い想いが様々なプログラムに伝わる素敵な集いになりました。20周年に向け、IBCにも興味を持って頂き、益々元気なYYYライフを送られます様に期待申し上げます。

3) 24日は大阪河内クラブ50周年記念祝会にお招きを頂きました。同じ阪和部の仲間、諸先輩から以前からご指導を頂いており、ゆっくりと大阪YMCA会館にて心のこもったおもてなしを頂きました。お祝いメッセージの中でもお伝えしましたが、老舗クラブですが現在はご苦労をされています。YYY力を合わせ追い風が吹きます様に阪和部長とご一緒に応援して参ります。

4) 9月10日は、高島クラブの入会式に立ち合い、皆さまとご一緒にフレッシュな新メンバーの加入で益々活性化される嬉しい例会になりました。

9月中旬からは、部会シーズンが始まります。交流はワイズの醍醐味。各部が様々な趣向を企画して頂いています。多くの仲間と語り、更に友情を深め、新たな力を頂く交流の場に致しましょう。



## 九州部評議会・部会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

去る10月11日に九州部第2回評議会と部会が行われ、鹿児島クラブから松若、徳田、中堀、園屋の4人が出席しました。シアーズ夢ホールで行われた評議会では、議案審議のほか、各クラブからの活動報告があり、松若会長が7月～9月の例会報告と今後の予定などを、ユーモアを交えながら熱く語りました。

部会は会場を移してメルパルク熊本で行われました。第1部式典に続き、第2部では「ぶらっとほーむ」(熊本YMCAの不登校児童・生徒支援プログラム)のメンバーによる音楽演奏、アジアユースコンボケーションとピースセミナーの報告、活動の中間報告などがあり、若い方の活動を頼もしく感じました。第3部懇親会では冒頭に「新町獅子保存会」による伝統的な「牡丹の舞」が披露され、開宴となりました。会には遠くは台北ほか西日本区各地から100名超の参加者があり、いつものように大変盛り上がりました。鹿児島クラブはDBCの京都ウェルクラブのメンバーと同じテーブルで、直接お話しすることができ、さらに終了後は両クラブの有志が二次会で交流を深めました。年に1回の九州部部会ですが、他クラブのワイズメンと親睦を深める良い機会であることを改めて感じた次第です。



### 今月の樹 モクセイ

モクセイ(木犀、学名: *Osmanthus fragrans*)は、モクセイ科モクセイ属の常緑小高木。中国名は桂花(けいか)。

単に「木犀」と言う場合ではギンモクセイ(銀木犀)だけを指すことが多く、広義では *Osmanthus fragrans* に属する品種(ギンモクセイ・キンモクセイ・ウスギモクセイなど)の総称である。花期は芳香がある。中国で九里香という名前もあるのは、その香りが遠くまで届くことから来ている。中国原産。日本では九州の山地に自然分布があるとされる。キンモクセイと共に、常緑の庭木として人為的に栽培されているものが見られ、関西地方に多い傾向がある。これは、ギンモクセイは関東地方では相当大きく生育した株にならないければ、花の付き方が悪いという栽培上の理由で差異が生まれていると考えられている。

中国ではモクセイは桂と書き、中国南部の景勝地で知られる桂林は、モクセイが多いことから名付けられたとされる。

(ウィキペディア参照)



9

### September 9月定例会報告

日時：令和7年9月23日(火)

場所：鹿児島市国際交流センター

出席者：10名

内容：卓話「コメ問題と合鴨農法について」

卓話者 福永大吾氏(鹿児島市在住)

### 今月の聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。  
互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者とうぬぼれてはなりません。

(ローマの信徒への手紙第12章15,16節)

### 9月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	8名
メネット	1名
コメット	0名
ゲスト	1名
ビジター	0名
メイクアップ	1名
9月出席率	122%

鹿児島ワイズメンズクラブ  
WEBサイトはこちら▶



忘れものを、届けにきました。

## となりのトトロ



日本文化で世界中に大きな影響を与えているものがある。それはアニメ・ジブリ・漫画であろう。一国の文化が世界の隅々まで浸透している例は少ない。

名前を上げたらキリがない、思い出した例を挙げてみよう。ドラエモン・ムーミン・アンパンマン・トトロ・コナン・マリオ・ポケモン・ピカチュウ・もののけ姫・クレヨンしんちゃん・キティちゃん・ワンピース、まだいくらでもある。このキャラクター達は広く世界に根づいている。しかも海外の人達は、この主人公は全て日本人だと思っている。このアニメを日本語で見ようと日本語の勉強を始めた人が如何に多いことか。だが、殆どの人は日本語の難しさに挫折している。

日本のアニメはストーリーが豊で、人間味に溢れ、涙とともに笑いも誘う、しかも平和的である。背後の風景も美しい。バックに描かれた日本の風景に憧れて、日本に行ってみたく思うようになる。幼いころに見た「隣のトトロ」にどれほど多くの子供が心豊かに育まれたであろうか、今ではそんな人達も社会の中堅をなしている。しかも現在の子供達も同じトトロに感動している。どこかの映画のように戦争ばかりしているのとはレベルが違う。

私が一番感動したのは「火垂るの墓」であろう。戦災で両親を失った幼い兄妹に、親が残してくれた唯一の遺産は一缶のドロップスであった。腹が減っても最後の一粒だけは食べなかった。一粒のドロップスが缶の中でカランコロンと音をたてるのが、唯一両親との繋がりであった。幼い兄が妹に食べさせようと努力する姿に、涙なしでは見れなかった。妹は亡くなり力尽きた兄は駅の雑踏の中で、妹と両親が待つ世界へと招かれた。屍は缶をしっかりと握っていた。

あまりにも悲しい物語で、その内容が問題になった事もあった。

世界で日本の首相の名を知っている人は皆無に等しいが、「宮崎駿」の名は広く知られている。今では秋葉原には海外の多くのアニメファン達が訪れている。大の大人がアニメショップを訪れ、豊富なアニメグッズに目を輝かせ「やはり本場は違う」と喜んでいる様子はほほえましく思う。観光客が東京の街を歩きながら「まるでアニメの中に居ようだ」と言う。「スラムダンク」に出てきた鎌倉にある時代遅れな電車の踏切に、多くの外国人が訪れ「スラムダンク」のシーンを真似て写真を撮る。

「君の名は」のシーン、過去と未来の男女が偶然出会った裏通りにある石だたみの階段に観光客が訪れている。このような良い作品が日本から誕生するのは、古くからある「おもてなし」や「一期一会」

「空気を読む」の文化が日本には残っている。ゴミを道路にポイ捨てしない、クラクションをむやみに鳴らさないのも、日本人が身につけた普通の行為である。この行為を普通の事として守って行けば、日本は先進国として世界から認められるだろう。アニメは文化的先進国の証だと思っている。





## 世界食糧デー鹿児島大会街頭募金活動

10月19日（日）に実施した世界食糧デー鹿児島大会街頭募金活動に鹿児島ワイズメンズクラブの皆さんと一緒に街頭募金活動を行いました。外国人観光客が多く行き来する天文館で、言葉が通じない場面などありましたが、1時間余りで39,179円の募金が集まりました。



## チアダンスイベント秋の陣

9月から10月にかけて毎週末県内各所でイベント出演に引っ張りだこのチアダンススクールメンバーたち。地域イベントや法人会のステージなど幅広いところで頑張っています。11月3日はおはら祭。今年も150名以上の大人数で出演します。時間は15時過ぎからの第4部です。



## 祝全国大会出場！

9月27日に福岡市で行われた全日本チアダンス選手権九州大会に5チームがチャレンジしました。今シーズン初めての大会で、全国大会がかかる予選大会でした。暑い体育館での練習を乗り越え、ひとりひとりが成長した姿を披露することが出来ました。高校生チームのFaithと小学生チームのFlareが11月末に東京体育館で行われる決勝大会に進出が決定しました。





# 清掃活動のご案内

下記の通り会員の皆様と共に清掃活動を開催いたします。2019 年以来となる永田川河口付近およびその沿岸部を中心とした環境美化と清掃活動は SDGs の海洋ゴミ問題を考えるきっかけになること、これからの地域社会環境や地球環境と向き合い美しい鹿児島を残していく活動にします。皆様のご参加をお待ちしております。

## 【概 要】

日 時：2025 年 11 月 16 日（日）

8:00 集合 8:10～9:10

雨天中止（前日の予報をもとに、責任者へ前々日 18 時までに連絡します。）

場 所：鹿児島市南栄町永田川河口付近

清掃場所および集合場所については、別添資料をご参照ください。

持ち物：動きやすい服装、着替え（必要に応じて）、※長袖長ズボン推奨

履きなれた靴（つま先の出る靴は NG）、帽子、日焼け止め、軍手、タオル、

トンブ、飲料（ルート上に水飲み場等はありません）、レジ袋

小雨の場合、動きやすい合羽等をご準備ください。

諸注意：駐車場は限りがありますので、極力乗り合わせでお越しください。

駐車に必要な必要台数を申込時にお知らせください。

家族やご友人との参加も可能です。

集合場所



清掃区域



最近の様子

